

自動走行車による解決可能な行政課題について

- 実証エリアにおいて、自動走行車を活用することにより解決できる行政課題についてご記入ください。
- 交通不便地対策、高齢者対策など複数テーマがある場合は、それぞれご記入ください。

市町村名 あま市

テーマ 七宝焼アートヴィレッジを核とした観光振興対策

本市は、甚目寺観音に代表される神社仏閣や、伝統工芸品である七宝焼、福島正則・蜂須賀小六ら戦国武将ゆかりの史跡など、魅力的な観光資源が多数存在している。中でも、あま市七宝焼アートヴィレッジは、「尾張七宝」として伝統工芸品の指定を受け、人々に親しまれてきた「七宝焼」について、見て・触れて・学んで・体験することができる総合施設であり、あま市観光協会も事務局を置くなど、本市における観光振興の拠点となる施設である。

しかし当施設は、最寄りの名鉄七宝駅から約2.1km、徒歩で約25分の距離に位置し、公共交通機関を利用したアクセスが良好とは言い難く、市外からの来場者を呼び込む上での懸念材料となっている。

そこで、この自動走行技術を活用し、駅からの送迎サービスを自動走行車両によって実施するなどして、当施設への来場者という多様な客層に自動走行技術をPRすると同時に、当施設の弱点であるアクセス面をカバーすることで、本市の観光拠点をより積極的に内外にアピールし、ひいては市全体の観光事業の目玉として注目を集めることができるのではないかと考えている。

また、当施設を拠点とした実証実験ルートを設定することにより、ある程度の面積がある当施設の駐車場で、希望者を対象とした試乗会を行うなど、比較的安全面が担保された条件の下、実証実験とタイアップしたPR活動を行うことも可能であると思われる。

さらに、将来的にはこの施設を拠点にして、市内観光ルートを自動走行自動車により巡回する観光タクシーに応用するなど、近未来技術と歴史という相反する二つのものを融合させることで、この新しい技術が今後どのように人々の実生活に反映されていくのか、より具体的に、また身近に感じることができ、この技術と本市が共に発展していくことができると考えている。

自動走行車の実験走行ルートについて

ルート① 七宝駅付近～七宝焼アートヴィレッジ～あま市役所七宝庁舎 約 3.8 km

- 1 区 間 七宝駅付近～七宝焼アートヴィレッジ～あま市役所七宝庁舎 約 3.8 km
- 2 地理条件 全域が県道であり、市街化調整区域内であるため、ルート南北線沿いは民家が比較的少ない。
- 3 道路条件 全長約 3.8 km、東西線は片側 2 車線、南北線は片側 1 車線、歩車分離
- 4 その他 車両待機場所：七宝焼アートヴィレッジ
- 5 ルート 下図参照



自動走行車の実験走行ルートについて

6 写 真

出発地点 七宝駅付近



経由地 1



経由地 2



中継地点 七宝焼アートギャラリー（公共施設）



経由地 3



到着地点 秋竹交差点

